



「VG 槻輪だより」
第200号発行
おめでと〜いございます

VG 槻輪のたぐさんの活動のなかで特に「たかつき」の協働フェスタ・フリーマーケットや「わがまち紹介」活動は、うれしい一日でした。

「わがまち紹介」活動では、周到的計画と下見のおかげで、個人では訪問や見学など出来ない公共や民間施設を見学させて頂きました。その際には必ず社員やスタッフの方が丁寧な説明をして下さいました。本当に感謝しています。



VG 槻輪総会後の親睦会で
中川さんに着物の着付けを教わる

最近の私の近況をお知らせします。

私は一昨年から持病が悪化し要介護1になり、昨年12月から近くの介護施設に歩いて通っています。

「趣味は？」と聞かれ、仕事(縫物・編み物)と書いたので、企業からの新品タオルや日本手拭を三つ折りや四つ折りにしてぐし縫いで雑巾を縫う手伝いをしました。時間がとても早く経ちます。

NEKの体操利用で立てる方はたち、椅子に座ったままでの体操も有ります。



高槻市オリジナル
介護予防体操
「高槻ますます元気体操」

又、頭の体操も色々有ります。四季にあわせ、今は春の熟語四文字熟語を思い出しています。

職員が黒板に書くのが難しい漢字は、「教えて」と私たちに聞くので教えてたりしています。

VG 槻輪OG

中川加奈子

※編集部メモ

中川加奈子さんは、ご主人と共に海外生活経験も長く、趣味も多くお持ちです。槻輪のホームページには「味WAVY」で料理の投稿も多くして頂いています。



「新しい日常」

会報「VG 槻輪だより」
第200号記念号発行
おめでと〜いございます

22年程前、一度はパソコンの体験学習をするも、画面を見てみると車酔いのような気分になって来るのでパソコンに向かうのを止めてしまったのですが、その後、やはりパソコンは必要不可欠と感じ「VG 槻輪のパソコン教室」に通いました。

その後「パソコン教室の助手や指導員」をしました。そんな私がパソコンのライブ配信で「チャットデビュー」したのです。それは園芸についてのライブ配信でした。

画面の相手が「質問、お話等何でも送ってください」と言う、「こんばんは」と直ぐに視聴者からの挨拶が入り、その後もドン

ドン投稿されて来るのではないですか。見ている間に沢山の投稿がされました。私は質問したいのですが、まず、頭に浮かんだ事は、「自分のアカウントに何かあったらどうしよう」「名前が出てしまう」と言う不安だったので。気になりつつ名前を変更して投稿することにしました。



チャットで楽しむ

メッセージを入力するにも、チャット欄に次々投稿されて来るのを見て焦ってしまい、なかなか入力出来ません。入力、訂正を繰り返しているうちに途中でメッセージが投稿されてしまいましたが、恥ずかしいのと、又最初から入力し直さないとならないのが嫌でした。三回途中送信してしまい、四回目入力できるよう成功。そしたらチャット欄に私のメッセージが現れました。まあ何とも不思議な感じでした。

この間にもリアルタイムで参加している人同士でお喋りしています。すると、突然私からのメッセージが読まれたのです。まさか読んでもらえるなんて思ってもみませんでした。思わず座り直し、姿勢を正して聞いていました。学校の授業のようです。嬉しくて喜んでいと息子が「お母さんがチャットをするようになったか」と。茶化すも褒めてくれた言葉と受け止めています。

多分、コロナ禍でなければライブ配信を覗く事もなかったでしょう。オンライン化が進む今、時代に置いてけぼりにならないよう自分のペースでパソコンを楽しみ、役立てて行きたいと思っています。

VG 槻輪OG
山本 由光衣



※編集部メモ
山本由光衣さんは、VG 槻輪のパソコン教室で指導をして頂きました。

今も活用しています「メガネリサイクル活動」のポストは彼女の作品です。



近況報告

「VG 槻輪だより」
第200号発行
おめでと〜い御座います

三寒四温とは言え、このころ、雪がちらついたかと思えば、20度越えの日もありと、定まりません。3日も経って、やっとメールに気が付きました。

「VG 槻輪だより」のお手紙頂戴し、如何したものかと思案しました。節目ごとに昔の思い出話をして興味ない方もいると思うと、現在活躍されている皆さんの今後の「槻輪」をどう発展させるかで盛り上げて下さい。

勝手なことを他人事のように言って申し訳ありませんが、ご容赦下さい。「槻輪」の発展を心よりお祈りいたします。

VG 槻輪OG
中村 幸代

※編集部メモ
中村幸代さんには、長年にわたり会報の編集作業をして頂き、テンプレートを作って頂き今も変えることなく使用しています。